

河内長野の桜を守ろう



特定外来生物

クビアカツヤカミキリ

発見したらその場で駆除を！

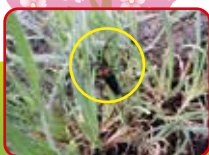
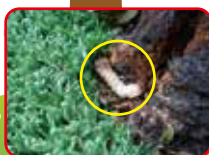
ご協力をお願いします。

特定外来生物に指定されています。幼虫が樹木の中に入り込み、樹木の内部を食い荒らしてしまいます。被害樹木は衰退し、やがて枯れてしまいます。成虫は、体長 25 mm～50 mm 程の全体に光沢のある黒色で胸部（首部）が赤色をしています。

発見・駆除の情報を
お知らせください。



詳しくはこちら



フラス（幼虫のフンと木くずが
混ざったもの）が排出される

被害樹木

サクラ、モモ、ウメなどバラ科の樹木。

成虫の特徴

前胸が赤く、長い触角、全身は艶のある黒色。成虫は6月ごろから8月にかけて出現。

幼虫の特徴など

幼虫は、樹木の中で2～3年過ごす。樹木を食い荒らし、寄生された樹木が弱り枯死させてしまうことがある。

寄生された樹木には、フラスと呼ばれる大量のひき肉のような木くずがある。

原産地

中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部など。日本にはもともといない昆虫で、特定外来生物に指定されている。

お問い合わせ先：河内長野市 地域資源循環部 環境政策課 電話：0721-53-1111
ホームページアドレス：https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/14/51708.html

